



はじめよう経済学<sup>+</sup>*Plus*  
第9講 マンデル=フレミング・モデル(2)

講師：加藤 真也

# 今回(第9講)は…

- 資本移動
- BP曲線
- IS-LM-BP分析①(変動相場制)
- IS-LM-BP分析②(固定相場制)

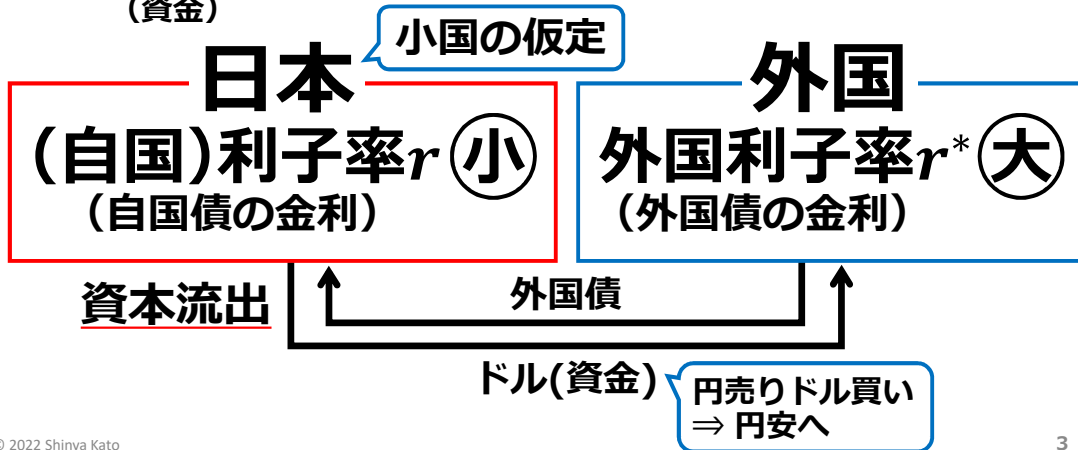
# 復習

理論上

- ①  $BP = \text{ドルの増加}$  貿易収支↓
- ② 円高( $e \downarrow$ )  $\Rightarrow EX \downarrow, IM \uparrow, BP \downarrow$   
円安( $e \uparrow$ )  $\Rightarrow EX \uparrow, IM \downarrow, BP \uparrow$
- ③ 自国 $Y \uparrow \Rightarrow$  輸入 $IM \uparrow$
- ④ 円買いドル売り  $\Rightarrow$  円高(ドル安)  
円売りドル買い  $\Rightarrow$  円安(ドル高)

# 資本移動 ・ 資本流出 (資金)

小国の仮定  
: 自国は外国の国民所得や  
利子率に影響を与えない



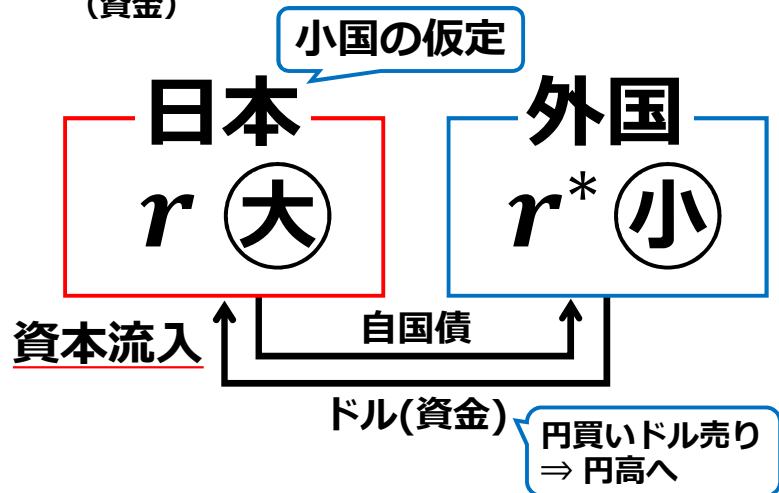
## 外国債の需要 $\uparrow$ (資本流出時)

→ 自国債の需要  $\downarrow$

→ 自国債の価格  $P_B \downarrow$  ( $r \uparrow$ ) 資本移動が...

- ①  $r \uparrow = r^*$   $\wedge$  : 完全
- ②  $r \uparrow < r^*$  のまま : 不完全
- ③  $r < r^*$  のまま : なし
- 不変

# ・ 資本流入 (資金)



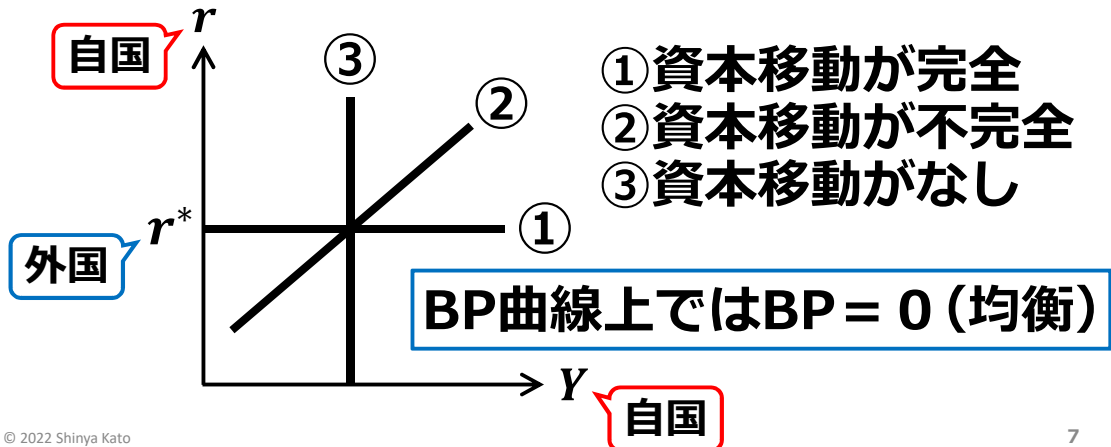
## 自国債の需要 $\uparrow$ (資本流入時)

→ 自国債の価格  $P_B \uparrow$  ( $r \downarrow$ ) 資本移動が...

- ①  $r \downarrow = r^* \wedge$  : 完全  
②  $r \downarrow > r^*$  のまま : 不完全  
③  $r > r^*$  のまま : なし
- 不変

# BP曲線 (国際収支均衡線)

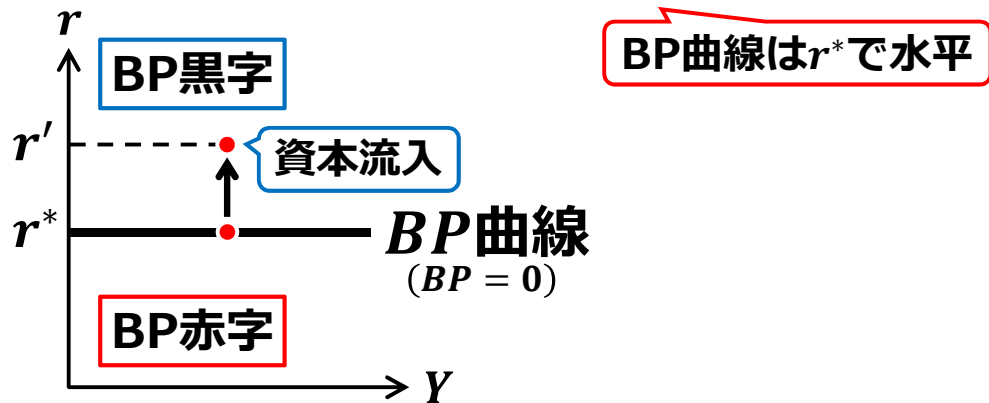
⇒ 次の3パターンあり



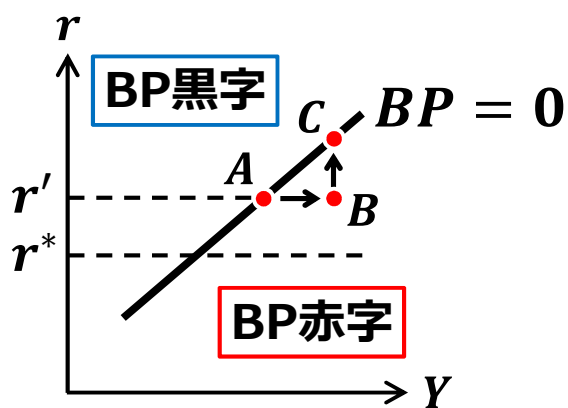


# ① 資本移動が完全

⇒  $r$ と $r^*$ が一致していないと  
資本移動が続いてしまう



## ② 資本移動が不完全



Step1 点A : BP = 0

Step2 点A → 点B

$r$  一定で  $Y \uparrow$

→  $IM \uparrow$

→  $BP \downarrow$  : BP赤字

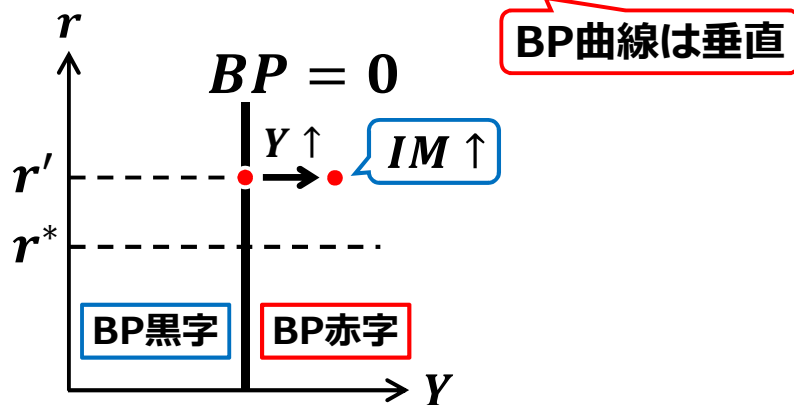
Step3 点B → 点C

$r \uparrow$  →  $BP \uparrow$

Step4 点C : BP = 0

### ③ 資本移動がなし

⇒  $r$ と $r^*$ のズレが大きくても  
資本移動がない



# IS-LM-BP分析

⇒ 様々なパターンがある

マンデル=フレミング・モデル

変動相場制

固定相場制

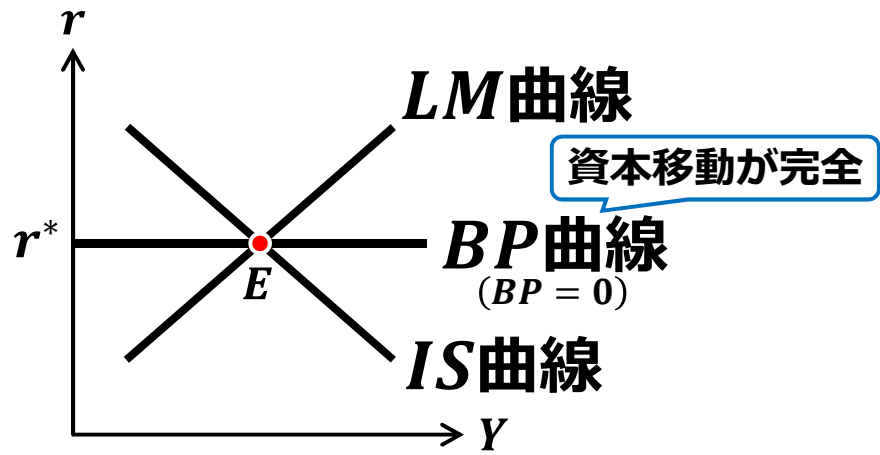
計8通り

① 資本移動が完全

② 資本移動が不完全

- ・ BPの傾き < LMの傾き
- ・ BPの傾き > LMの傾き

③ 資本移動がなし



点Eでは、財市場・貨幣市場・国際収支BPが均衡  
(外国為替市場)

# IS曲線の右シフト

①  $G \uparrow, T \downarrow$  (拡張的財政政策)

②  $EX \uparrow, IM \downarrow$  (貿易収支  $\uparrow$ )

総需要  $Y^D$

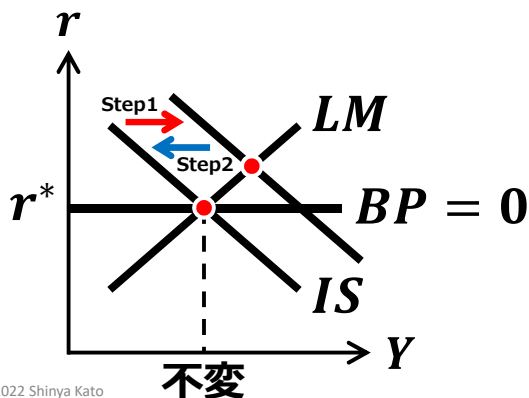
$$= C + I + G + EX - IM$$

$$\begin{aligned} C &= c(Y - T) + C_0 \\ &= cY - cT + C_0 \end{aligned}$$

# マンデル＝フレミング・モデル

(変動相場制、資本移動が完全)

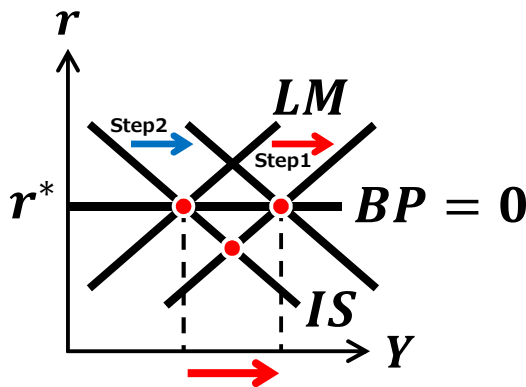
## ・ 財政政策 ( $G \uparrow, T \downarrow$ )



IS右シフト  $\rightarrow r \uparrow$   
 $\rightarrow r > r^* \rightarrow$  資本流入  
(ドル)  
 $\rightarrow$  円買いドル売り  
 $\rightarrow$  円高  $\rightarrow EX \downarrow, IM \uparrow$   
 $\rightarrow$  IS左シフト  
 $\rightarrow Y$  不変: 効果なし

(変動相場制、資本移動が完全)

• **金融政策**( $M \uparrow$ )



- LM右シフト  $\rightarrow r \downarrow$
- $\rightarrow r < r^* \rightarrow$  **資本流出**  
(ドル)
- $\rightarrow$  円売りドル買い
- $\rightarrow$  円安  $\rightarrow EX \uparrow, IM \downarrow$
- $\rightarrow$  IS右シフト
- $\rightarrow Y \uparrow$ : 効果あり



# 為替介入

## ・ 円買い介入

： 中央銀行(日銀)が  
保有するドルを市中の円と  
交換すること

⇒ 日銀に円が回収されるので  
マネーストック  $M$  ↓

LM左シフト

## ・ 円売り介入

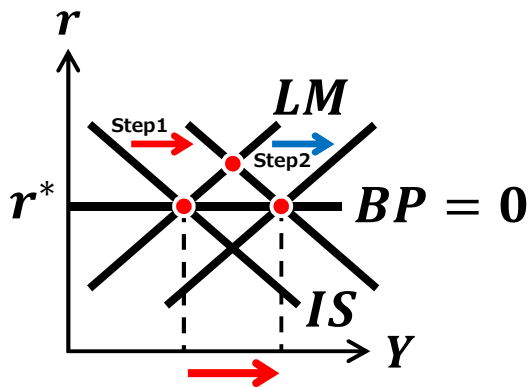
： 日銀が円を市中のドルと  
交換すること

⇒ 日銀から円が放出されるので  
マネーストック  $M$  ↑

LM右シフト

(固定相場制、資本移動が完全)

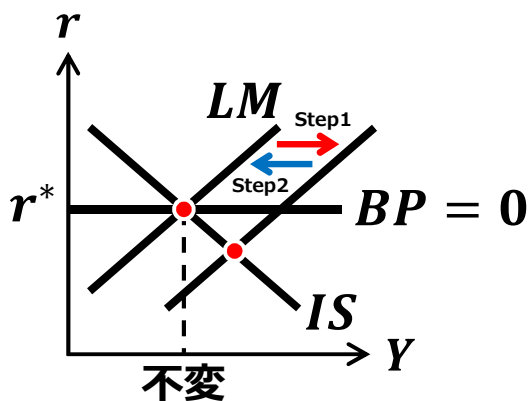
• **財政政策** ( $G \uparrow, T \downarrow$ )



- IS右シフト  $\rightarrow r \uparrow$
- $\rightarrow r > r^* \rightarrow$  **資本流入**  
(ドル)
- $\rightarrow$  **円買いドル売り**
- $\rightarrow$  **円高阻止** : 円売り介入
- $\rightarrow M \uparrow \rightarrow$  LM右シフト
- $\rightarrow Y \uparrow$  : 効果あり

(固定相場制、資本移動が完全)

• **金融政策( $M \uparrow$ )**



- LM右シフト  $\rightarrow r \downarrow$
- $\rightarrow r < r^* \rightarrow$  資本流出 (ドル)
- $\rightarrow$  円売りドル買い
- $\rightarrow$  円安阻止：円買い介入
- $\rightarrow M \downarrow \rightarrow$  LM左シフト
- $\rightarrow Y$  不変：効果なし

# ポイント (マンデル=フレミング・モデル)

変動相場制で  
資本移動がしやすければ、  
金融政策の効果(大)

# 覚え方 (資本移動が完全)

返金、	来ない
変動	固定
金融	財政
}	
有効	有効

## 次回(第10講)は…

- ・ 経済成長論の入門授業です
- ・ ソロー・モデルを学びます
- ・ 経済成長論では投資  $I$  が重要な役割をします